



社会貢献

社会貢献にも積極的に取り組みます。

社会貢献活動（2017年）

基本的な考え方

ロッテは、創業以来一貫して、「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」という3つのロッテバリューを全ての企業活動の基本としています。これらを掲げた企業理念のもと、お客様をはじめ、地域や社会に新たな価値を提供することで成長し続けてきました。

2017年度は、以下のような活動に取り組みました。

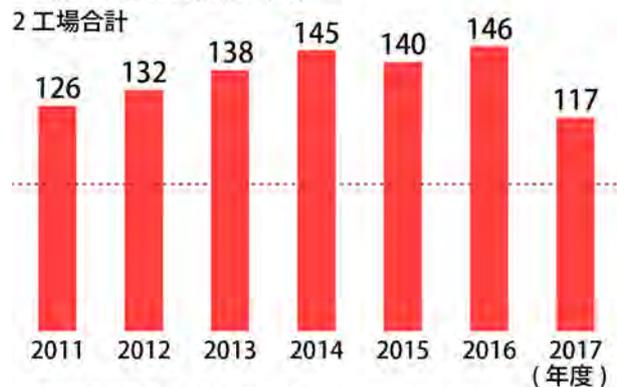
【食育】工場見学を通じた地域交流の実施

主力工場である浦和工場と狭山工場では、お客様や地域の方々を対象とした工場見学を実施しています。安全・安心なお菓子づくりの様子を実際にご覧いただくとともに、環境への取り組みを知っていただくための大切なコミュニケーションの場として、子どもたちを対象とした食育推進活動に取り組んでいます。

2工場の見学者数の累計は、2017年度末時点で38万人を超えました。現在、狭山工場では、チューインガムの包装ラインの見学のほか、模型を使ったお菓子づくりの説明や食品素材を使った体験実験などを実施しています。浦和工場ではチョコレート製品の生産ラインを紹介しています。また、浦和工場は、2013年にさいたま市の「環境に関する協力事業所」として登録されています。その活動の一環として、ホームページに掲載した環境に関する記事の一部などをホールに展示しています。

今後も、子どもたちにとって身近なお菓子づくりに関する学習機会を通じて、「食」や「ものづくり」、「環境保全」などに対する興味・理解を喚起してまいります。

工場見学者数の推移（%）



※2007年度を基準(100%)として

※2017年度は、浦和工場の新工場建設工事に伴い、受入れ人数枠を縮小したため、見学者数は減少しました。

身近なキャラクターをディスプレイ。
季節によって演出を変え、見学者の方に楽しんでいただけるよう心がけています。

狭山工場



入り口では季節の草花がお出迎え 歴代のコアラのマーチのパッケージを展示 ハロウィンの展示を実施

浦和工場



2017年は写真コーナーを新設

ホールでは環境活動について展示

見学通路から見るできない製造工程を
模型や実験などでわかりやすく説明しています。



狭山工場 コアラのマーチの生地焼き実験



狭山工場 ガム糖衣がけ模型

親子のふれあいに貢献

浦和工場・狭山工場の工場見学では、小・中学校の社会科見学など、団体を主な受け入れ対象としていますが、学校が休みの期間には、少人数のグループによる見学も受け入れています。ご家族でお菓子ができあがるまでの工程を楽しくご覧いただいています。

見学いただいた小学生の感想(一部抜粋)

- いろいろな教えていただきありがとうございました。
- ロッテ工場でこんなにたくさんのおかしをつくっているなんて知りませんでした。
- コアラのマーチの絵のしゅるいの多さにびっくりしました。
- ロッテのことがわかりました。
- いろんな実験ができてたのしかったです。
- シャルロッテという女の人の名前をもとに、ロッテという名前になったことをはじめてしました。



※ロッテホームページの「バーチャル工場見学」ページも参照ください。
ロッテのお菓子ができる工程を、動画や写真で見ることができます。
<https://www.lotte.co.jp/entertainment/factory/>

工場開放イベント「ナイトミュージアム」を開催

ポーランドで事業を営むロッテのグループ会社・ロッテウェデル社のワルシャワ工場では、2013年から、毎年5月に「ナイトミュージアム」と題して一般の方に工場を開放しています。

正午から24時まで工場を開放しており、来場者はWedelの歴史紹介、製造ライン、手作り工房、チョコレート彫刻の見学やチョコレートの試食などの催しに参加できます。戦前にWedelチョコレートを空輸した飛行機レプリカの公開展示なども実施しています。

当イベントには、2015年から2017年までの3年間で合計8,000人以上の方々にご参加いただきました。Wedelブランドについて一層のご理解をいただく機会と考え、今後も継続していきます。



ナイトミュージアム

その他の活動トピックス (2017年度)

【食と健康】 噛むことの大切さを伝える活動

ロッテはガムを扱う企業として、「噛むこと」の大切さを伝える活動を行っています。

■ 噛むことから始める「健康セミナー」

社会問題となっている未病対応の一助となるべく、下記のセミナーについて主催・協賛しています。

- (1) 咀嚼が創る健康長寿
- (2) マイナス1歳からはじめるむし歯予防
- (3) 歯周病予防

「咀嚼が創る健康長寿」は、NHK文化センター主催、公益社団法人日本歯科医師会後援で、2009年から開催しています。本講座では、高齢者の方にとっての、咀嚼と健康の関係をお伝えするため、咀嚼の効用をわかりやすく解説しています。

「マイナス1歳からはじめるむし歯予防」は、公益社団法人母子保健推進会議とロッテとが共催する形で、開催地の県市行政の協力を頂き、2012年度から地域の母子保健推進員らを対象として展開しています。むし歯菌の母子伝播を防ぐ、妊娠期からのむし歯予防を呼びかけています。

「歯周病予防」は、シティリビング主催、公益社団法人日本歯科医師会後援で、2016年に開始しました。本講座では、全身の健康とも関連の深い、口腔ケアと歯周病予防について情報発信しています。2017年度は全国計7か所でこれらのセミナーを実施しました。



全国7か所でセミナー開催を支援

■ 咀嚼と健康ファミリーフォーラム

「噛むことは健康のはじまり」をテーマに特定非営利活動法人日本咀嚼学会が1995年にスタートさせた「咀嚼と健康ファミリーフォーラム」に、ロッテは特別協賛しています。

フォーラムでは、歯学、医学、栄養学、食品学、調理学などの専門家や、介護・看護・医療・教育の現場で活躍されているオピニオンリーダーの方々など、様々な講師陣を招き、「噛むことの大切さ、噛むことによる健康効果」を多くの方々に呼びかけています。2017年は10月に東京都で開催しました。



咀嚼と健康ファミリーフォーラム

■ 未来貢献プロジェクト・未病シンポジウム

「未来貢献プロジェクト」は、読売新聞社主催のプロジェクトです。日本には数年先、数十年先の未来を見据えたさまざまな施策が必要であるという考えから、政府や自治体、民間企業が行っている取り組みを、新聞紙面、シンポジウム、各種イベントなどを通じて応援しています。

ロッテは2016年から、「未病」をキーワードに「健康寿命延伸」に向けた各業界の取り組みをクローズアップして理解と認知を拡げるシンポジウムに協賛。取り組みの発表を行っています。2017年は10月にシンポジウムが開催されました。



「未病」をキーワードとするシンポジウムの開催を支援

■ 健やか親子21

「健やか親子21」は、厚生労働省が2001年から開始した国民運動計画です。母子の健康水準を向上させるため、関係者、関係機関・団体が一体となり、さまざまな取り組みを推進しています。

ロッテはこの運動に企業メンバーとして参加。母子保健推進運動のサポート事業として、以下のような取り組みを行っています。

- (1) 「健やか親子21全国大会」開催を支援
- (2) 母子保健活動の活性化を目的とした顕彰事業「8020の里賞（ロツテ賞）」を支援
- (3) 母子伝播予防の観点から、むし歯予防の啓発による全身の健康づくりのための講演を全国各地で開催

2017年10月には、「母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会」の中で、親子の健康づくりのために活動する地域組織の優秀団体を表彰する「8020の里賞」の表彰式を行いました。



健やか親子21

■ ハート・リング運動

ひとりひとりの思いをつなげて「認知症にやさしい社会」をつくっていききたいという「ハート・リング運動」を『噛むチカラ』の面から応援しようと、2014年からNPO法人ハート・リング運動に協賛しています。

2017年度は「口から考える認知症」をテーマに、9月、東京都内でのフォーラムに協賛しました。



「ハート・リング運動」のフォーラムに協賛

■ 健康ガムカムダンベル体操

中高年齢者の方々に健康づくりとガムを噛むことの重要性を伝えることを目的とした健康体操イベント「健康ガムカムダンベル体操」に、1999年のスタートから毎年協賛しています。

このイベントは、例年、東京巢鴨のとげぬき地藏尊で行われるほか、高齢者のスポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典である「ねんりんピック（※）」のなかでも開催。2017年度はいずれも9月に実施されました。高齢化がますます進む現代社会にふさわしい健康イベントとして、今後も展開を支援します。

※2017年度は秋田県秋田市にて開催。



健康ガムカムダンベル体操

■ ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー

「ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー」は、『「いい歯で、いい笑顔」を日本中に。』をキャッチフレーズに、日本歯科医師会が実施しているキャンペーンです。「8020運動（※）」とあわせて、歯科医療の正しい理解促進、イメージアップおよび咀嚼啓発を図る目的で行われています。2017年度は「とびきりの笑顔」をテーマにした『スマイルフォトコンテスト』として、「一般部門」と、全国の日本歯科医師会会員とそのスタッフ、歯科大学・歯学部学生を対象とした「デンタルスマイル部門」の2部門で募集が行われました。募集は「歯と口の健康週間」の6月に開始され、審査を経て、11月8日「いい歯の日」に授賞式が行われました。あわせて、全国の日本歯科医師会会員の投票により、最も笑顔の輝いている著名人が男女一名ずつ選出、表彰されました。

※日本歯科医師会が厚生労働省とともに推進する、80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという運動。



■ 交通安全推進活動への協力

ロッテでは、1977年から、春と秋の交通安全運動で交通安全標語入り「注意んガム」を提供するなど、交通安全推進活動への協力を続けています。

2017年も、春と秋の全国交通安全運動期間に、交通安全協会、警視庁、JAF（日本自動車連盟）の各機関と協力して、交通安全標語入りのブラックガムを配布し、全国のドライバーに安全運転をPRしました。



2017年秋の標語入りガム

【食と健康】 手づくりお菓子教室の実施

菓子についての知識を深め、より親しみを持っていただけるように、全国の小売企業様と組んで行うお菓子教室を2017年度も開催しました。

■ レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室

2017年度は4月～3月にかけて、全国各地で計14回、「レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室」を開催しました。合計約216組432名の親子の方に参加いただき、レディーボーデンを使ったキャラクターレシピ『笑うアイスクリーム』へのチャレンジを通じて、アイスクリームへの親しみを深めていただきました。



レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室

■ 親子でチューインガムをつくろう！

8月～10月にかけて東京都新宿区内で開催された「新宿クリエイターズ・フェスタ」のこどもアート展の一環として、親子で参加する手作りガム教室を8月に実施し、合計約180名の方に参加いただきました。新宿クリエイターズ・フェスタは、アートを通して新宿の魅力づくりを発信するイベントであり、ロッテは開催初年度の2011年から特別協賛しています。



手作りガム教室

【教育】 東京都小・中学校新聞コンクールに協賛

ロッテは壁新聞「ロッテクラストピックス 学級の話」を1964年7月の創刊以来、全国の小中学校に寄贈しています。各地の小・中学校で児童生徒やPTAが行っている活動を広くご紹介し、互いの活動を知っていただくことで、次世代育成で大きな役割を果たす学校という場をよりよくするお手伝いできればと考えています。

2018年2月の「東京都小・中学校新聞コンクール」にも協賛し、表彰式（主催：東京都小学校新聞教育研究会・東京都中学校新聞教育研究会、後援：東京都教育委員会・毎日新聞社）で4校に「新聞奨励・ロッテ賞」を授与いたしました。



新聞奨励・ロッテ賞の表彰盾

【環境】 ガム取り清掃活動

日本チューインガム協会では、ガムに関するマナーの重要性を一人でも多くの方に見つめ直してもらおうと、「ガムのポイ捨て防止」を促す清掃活動を毎年展開しています。ロッテはこの理念に共感し、日本チューインガム協会・銀座通連合会のご協力のもと、2002年から、新入社員研修の一環として本活動に参加しています。

2017年度は雨天中止となりましたが、例年4月に、新入社員と社員ボランティア約100名が、東京・銀座4丁目交差点付近の街並みを清掃しています。今後も道行く人々にエチケット・マナーについて考えていただけるように努めます。

【学校】 ベルマーク運動

ロッテは、ベルマーク教育助成財団のこの運動に、1971年から協賛会社として参加しています。援助の対象は、日本国内はもちろん、海外にも広がっています。

商品についているベルマークを、運動に参加するPTAが集めて、財団に送ると1点が1円に換算されて学校のベルマーク預金になります。その預金で自分たちの学校に必要な教材備品を協力会社から購入すると、購入金額の10%がベルマーク財団に寄付され、教育援助活動に活用されます。

【ベルマーク対象商品】

キシリトールガム〈ライムミント〉、キシリトールガム〈ライムミント〉3P、キシリトールガム〈ライムミント〉5P、コアラのマーチ〈チョコ〉、チョコパイ